

北陸の企業の魅力を語る

特別講義のプレ講座開講



親しく学生に語りかける北陸銀行の杖村常務
＝ラモーダ香林坊教室

金沢学院大学経営情報学部は、来年度開講予定の特別講義「北陸企業の魅力」のプレ講座を8月23・24日の2日間、香林坊ラモーダ9階金沢学院東高校香林坊教室で開講し、学生と社会人約40人が受講しました。

北陸銀行の杖村常務が、顧客目線からの他行との差別化「スピー

ドと質」について説明し、学生たちは銀行の気配りに驚いていました。三谷産業の三谷充会長は、会社経営で培った体験談から社員採用にまで話が及び、学生にとっては興味深い貴重な講座内容になりました。北陸ミサワホームの林諭高社長は「人の喜びをもってわが嘉よろこびとす」の



特別講義の趣旨説明する阿手雅博学部長

企業理念に立脚した考え方を熱く語りました。39歳の若い社長の話に学生たちは引き込まれていました。北陸銀行国際業務部中国室の田村昌邦調査役による現代中国の現状についての講座は、現地で調査した資料を駆使した内容でした。

第2回は6000人

大学・短大のオープンキャンパス



金沢学院大学・短期大学の今年度第2回オープンキャンパスは8月6日開催され、約6000人の参加がありました。全体説明会で、榎木裕学長の挨拶のあと、中西一夫副学長は、頑張る学生を応援する「アドミツション奨学金」制度の導入など、新しい取り組みを紹介しました。

写真

「いから始まる輝く未来

高校生活に思いを馳せて

東高校の学校見学会



金沢学院東高校の学校見学会が7月29日行われ、約380人が参加しました。参加した中学生は、快適な校舎と設備が整った運動施設、特色ある美術や伝統芸能などの授業や部活動に接し、ここでの有意義な高校生活に思いを馳せていました。

写真

友禅和紙

折紙クラフトで交流

金沢学院大学は、第24回JAPANTENT金沢職人大学のプログラムとして8月22日、留学生11人を受け入れました。

東高校では「相撲」を体験。男女留学生とも、「まわし」をつけ土俵に上がって力士気分を満喫しました。

「ちゃんこ」の昼食の後、大学6号館に移り、児島新太郎講師ら芸術文化学科教員の指導を受け、友禅和紙で折紙を作りながら本学学生ボランティア14人と和やかな文化交流の時間をもちました。

写真

